

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろStudy(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に応じた課題を作成し提供。	ご契約時やモニタリング時、送迎時に保護者等からの要望を聞き取り、困りごとに対応した課題や支援内容の検討を行っている。また、発達検査の内容や、園との連携を取りながら支援内容の検討を行っている。	本児の強みを大事にし、より良い支援につなげるために、モニタリングだけでなく、日常的に保護者様が相談しやすい関係作りを心がけ、随時、支援内容を見直し、改善に努めます。
2	ビジョントレーニングで左右の脳のバランス良い使い方を習慣づける。	利き手ばかりになりやすいので、使おうとしない手側にも意識を向けるような声掛けをしていく。また、ビジョントレーニングの実施がまだ難しい利用者には、アナログビジョントレーニング等で練習しながらビジョントレーニング機器への導入をしていく。	スタッフの声掛けと、できていることへの褒め言葉を継続し、良い習慣をつけられるようにしていく。
3	保護者様の悩みに寄り添った支援を心がけている。	保護者の悩みに寄り添い、より良い親子関係や、支援ができるよう、LINEや電話で随時相談を受けている。	利用者の行動面を観察して心の状態を見ていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の定期的な避難訓練は実施され、ブログ、インスタ等で紹介しているものの、周知されていないところがあった。	訓練の実施状況やマニュアルを、すべての保護者に周知できるような工夫が足りなかった。	保護者LINE等で避難訓練実施の写真や様子を参加者に送るとともに、他の保護者向けにもSNSを見てもらえるようお知らせする。
2	問い合わせに対して、受け入れる枠が少ない。	送迎の都合や定員の関係で、受け入れをお断りすることが多くなってきている。	できる範囲で受け入れをしていく。

3			
---	--	--	--